

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切にする子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子

取組目標

地域と学校園、保護者との連携を深め、地域と学校園が連携し協働した取組を充実させるとともに、ボランティアスタッフとして地域人材を積極的に活用する。

【今年度の取組紹介】

春日中学校区地域教育協議会では、今年も様々な事業に取り組むことを計画しましたが、コロナ感染症対策のため、その多くが中止あるいは延期となりました。多くのボランティアスタッフに支えられ、徹底した感染防止対策のもと、美化作業や放課後の学習支援にも取り組みました。また、「みんなの学習クラブ」を活用することで、タブレット端末を活かした学習活動支援事業の充実につながりました。また、今年は1度だけの開催となりましたが、日本漢字能力検定も行われました。他にも多くの方たちのボランティア協力によって登下校時の安全見守り活動などが行われました。そして、今年のふれあい文化祭では全校生徒が集まって部活動などの舞台発表を鑑賞することはできませんでしたが、夜間学級の卒業生をモデルにした創作落語「生きた先に（笑福亭鉄瓶 作）」を鑑賞しました。



【わかるわかる学習会】



【笑福亭鉄瓶氏】

【今年度のまとめ】

地域の方々の協力を得て、子どもたちが地域の方々と触れあったり地域の方々に見守られたりすることは、自分の住む地域やそこに暮らす人々を愛する心を育てる良い機会となりました。コロナ禍の影響は決して小さくなかったけれど、力を合わせ様々な事業を成し遂げられたと思われまます。登下校時の安全見守り活動で子ども達と地域の方とが交わす笑顔に、「地域の子は地域で育てる」という意識があらわされていました。

【来年度に向けて】

地域と学校、園、家庭の連携をさらに強いものにしていくことが大切です。そのための地域人材の活用が求められています。特に地域で育った子が、大人になって地域に帰ってくる、地域の活動に参加する、そのようなサイクルを作っていくことが求められています。

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切にする子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子

取組目標

地域の方との関りを通して、生徒自身が必要とされている存在であることを認識させ、自尊感情の高めることで、学習への意欲の向上と規範意識の育成につなげたい。

【今年度の取組紹介】

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、キャリア教育としての「職場体験」などの各種体験学習については中止せざるを得ない状況となり、全ての取組を実施することはできませんでした。しかし、本校が長年にわたって取り組んできている学習活動支援事業として学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るための放課後学習会「わかるわかる学習会」には重点的に取り組みました。

「わかるわかる学習会」では、基礎学力の定着を図る「こっこっコース」、発展的な学習に取り組む「どんどんコース」に分かれて学習に取り組んでいます。生徒たちは、持参した問題集などを使って学習したり、生徒一人一人に配付されたタブレットを使って学習に取り組んだりしています。タブレットには「みんなの学習クラブ」アプリを導入し、小学校の学習内容からの復習ができるようになっています。自分の自学自習を基本としますが、大学生を中心としたボランティアスタッフにアドバイスをもらいながら熱心に学習に取り組んでいました。



【今年度のまとめ】

学ぶ意欲のある生徒からの「勉強がわかるようになりたい」という思いを受けて始まった「わかるわかる学習会」も12年続いています。生徒たちは、ボランティアスタッフとともに学習に取り組み、「勉強がわかるようになった」と実感するとともに、自信が芽生え、学習意欲の向上につなげることができました。また、タブレットを使っての学習は、生徒たちが自分のペースで学習するのに有効な手段となりました。

【来年度に向けて】

今年度の取組への成果と課題をふまえ、来年度も「わかるわかる学習会」や今年度実施できなかった「各種体験学習」などの学習活動支援事業、「出前で部活」などの地域交流事業に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像 **・地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切に
大切にする子・なかまを大切に
する子・学習を大切に
する子**

取組目標 **済美の町と人、そして奈良の町と人と関わる体験活動を行うこと
で、地域に誇りを持つ取組を進めていく。**

【今年度の取組紹介】 ☆心を育む事業☆

全学年 芸術鑑賞会「堀内 佳コンサート」

全盲のシンガーソングライター堀内佳さんのコンサートを地域の方と一緒に鑑賞しました。堀内佳さんの生い立ちのお話を聞きながら、笑顔の大切さ、まずは自分を好きになること、無理だと思わずにチャレンジすることを教えていただきました。すばらしい歌声と説得力のあるお話に自分を見つめ直すとともに、感動的な時間となりました。



6年生 情操教育 「生け花から学ぶこと」

毎週月曜日、本校玄関のお花を生けに来てくださる川崎さんと、MOA 美術文化インストラクターの前園先生をお招きして、生け花体験を行いました。5種類のお花の中から自分で気に入った花を選び、それに合った花器や敷物も選びながら花を生けました。一本の花と向き合いながら花を生けることで、子ども達の心に変化があったようで、優しい気持ちになれた、花にもいろいろな表情があることがわかったなど、様々な気づきがありました。



【今年度のまとめ】

一年間を通して図書ボランティアの方々に図書館整備と読み聞かせを行っていただきました。また、学校環境整備にもご協力いただき、子ども達が毎日気持ちよく学校生活を送れるよう様々な面でサポートしていただきました。今年度は新しい取組として、地域の方に田植えから稲刈りまでご指導いただきながら稲作体験も行いました。コロナ禍でも、感染症対策を行いながらできることを地域の方と相談しながら実施することができました。

【来年度に向けて】

これからも、地域連携を大切にし、子ども達の心を豊かに育み、「済美・奈良を誇りに思う子ども」を育てる取組を進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子 自分を大切にする子 なかまを大切にする子 学習を大切にする子

取組目標

大安寺っ子、地域で学び、つながろう

【今年度の取組紹介】

令和3年度も、地域交流事業として「大安寺から学ぶ」に取り組みました。しかし、昨年と同様に新型コロナウイルス感染予防対策のため、活動する内容もできるだけ少人数での作業・活動などで実施することとなりました。そのような中でも地域の方々との出会いや関わりを通じて、交流を深め、大安寺の地域でしかできない体験学習を実施させていただきました。

主な活動として、4年生では地域の特産物である「八条水菜栽培」を、5年生は、「米作り」を体験させていただきました。収穫したものは、お家に持って帰りおいしくいただきました。



5年稲刈り体験

校内ペンキ塗り



【今年度のまとめ】

1年間を通じて、地域の方々のご協力をいただき、校庭や中庭の剪定作業などといった、環境整備ができました。児童は、新型コロナウイルス感染対策の中で様々な活動が制限された学校生活を過ごしています。そのような中でも地域の方々と子どもたちができることを考えて、取組を進めてまいりました。

図書室の整備をしていただいたり、家庭科の「ミシンの授業」で、学習補助にも入っていただいたりしました。様々な場面や学習で助けていただくことで、児童の学びが深まりました。

さらに、教育環境支援事業として、運動場の草刈りやペンキ塗りといった活動を通して、地域の方々との関わりを充実させた取組を行いました。

【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、地域の方々と共に事業に取り組んで参ります。今まで通りではなく、地域の方々と学校がともにできる、新しいことを考えて取組をしていく必要があります。ICT機器を活用した新しい交流も取り入れながら、地域の様々な方々とのつながりを大切にしていきます。

また、地域のこと・もの・人や、伝統・文化について学び、地域社会から学ぶことの大切さを身につけ、子どもたち自身が大安寺の地域について、誇りを持って語れるように、育てていきたいと考えています。

めざす子ども像

地域とのかかわりを大切にする子/自分を大**切にする子/なかまを大切にする子/学習を大切にする子**

取組目標

地域とのふれ合いを通して、郷土愛やコミュニケーション力を育む。
また、事業での関わりを通して、子どもと地域、学校と地域、地域同士のつながりを深めていく。

【今年度の取組紹介】

今年度の夏は、例年に比べて雨が多く運動場の雑草がたくさん生えてしまいました。地域の方々の協力を得て、なんとか体育参観ができるように環境を整えることができました。今年度も教育環境支援事業において、たくさんの地域の方々に集まっていただき、花壇やプランターの手入れ、樹木の剪定等をしていただきました。年間を通してきれいな花で子どもたちを迎え、見守り続けてくださっています。

1・2年生の生活科の学習で1年生はチューリップの球根、2年生はビオラの苗を一人一鉢で育てます。今年度は、地域の方々の協力を得て、チューリップの球根やビオラの苗を植える活動のお手伝いをしていただきました。

子どもたちは、ていねいに土をかぶせた後、水やりをして芽が出てくるのを心待ちにしていました。

【環境整備・運動場の除草作業】**【地域交流・花の苗植え】****【今年度のまとめ】**

コロナ禍で地域の方々と一緒に行える活動が制限されましたが、地域の多くの方がこんな状況だからこそ、子どもたちのために何かできることはないかと尽力してくださいました。安全見守り、学校の環境整備や図書室の環境整備と、地域の方々に支えられていることをしっかりと子どもたちは感じ取っていました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組を今後も続けていきたいです。

【来年度に向けて】

地域の子どもの健全育成のため、コロナウイルス感染症予防対策をしながら今までの「チーム済南」の活動を続けていきたいです。また、子どもたちが地域の方々ともっと触れ合える機会を多く設け、6年生の卒業前の奉仕活動（地域のごみ拾い）については、自分たちが住んでいる地域をきれいにする事で地域への愛着を感じさせるいい機会となったので、定着できるようにしていきたいです。

めざす子ども像

- ・ 地域とのかかわりを大切にする子
- ・ 自分を大切にする子
- ・ 仲間を大切にする子
- ・ 学習を大切にする子

取組目標

子ども達にとって地域とのつながりを意識できるふれあい活動事業を中心に、様々な経験や体験を通して地域とのつながりを強く感じられる取組を行う。

【今年度の取組紹介】

◆感染症対策を行いながら、今年度も済美幼稚園ならではの取組を行うことが出来ました。『ならまちたんけん』です。地域の方に安全指導・案内をしてもらい、「音声館・庚申堂コース」と「元興寺・興福寺コース」の2回実施しました。子ども達は地域の方からその由来や言い伝えを聞き、興味を持って見ていました。身近にある地域の良さを見たり聞いたり体験したりすることができました。また、保護者も一緒に参加する姿が見えています。今後も、子ども達にとって、地域の方々が身近に感じ取れるようにしていきたいです。



◆次に『新年を祝うお茶会』です。子ども達にとって日本の伝統文化に触れる体験です。地域の方々が、フルートと琴の生演奏を聴かせてくれます。続いて、地域のお茶の先生に作法を見せてもらったり、お茶の点て方を学んだりしています。その後、子ども達はお茶を点てて味わいます。緊張しながらも、「たてるのはむずかしかった。」「にがいけど、おいしかった。」「お菓子はおいしい。」などと、感想を言っていました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍で地域の方との関わりは減っていますが、その中でも子ども達にとって、地域とのつながりを意識できる活動（「ならまちたんけん」・「新年を祝うお茶会」・「親子花苗植え」・「絵本の読み聞かせ」・「子育て支援」・「ダンス・サッカークラブ」・「押し花教室」等）を地域の方にご支援いただきました。たくさんの方々との関わりを通して、子ども達に豊かな心が育ってきています。また、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちを持てるようになってきました。保護者からは、「ならまちたんけんやお茶会など、親が教えられないことを地域の方から学んで貴重な体験をさせてもらっている」「これからも続けてほしい」という意見が多く聞かれるようになってきました。子ども達は、さまざまな経験から、思いやりの心・挑戦する心を持てるようになってきていると感じています。

【来年度に向けて】

地域の方々から多くのことを学び、引き続き幼稚園が地域の子育て支援の拠点となるよう、感染症対策を行いながら、取組の精選を含めて、連携をさらに深めていきたいと考えています。

めざす子ども像

○地域とのかかわりを大切にする子○自分を大切にする子○なかまを大切にする子○学習を大切にする子

取組目標 家庭・地域・幼稚園が一緒になって子育ての大切さや楽しさを感じる。

【今年度の取組紹介】

地域交流事業として、PTA さんとの共催で「幼稚園祭り」を行いました。コロナ禍であり、地域の方との触れ合う機会が減っている中、幼稚園祭りが貴重な交流の場となるように、検討を重ねました。5歳児は自分達でつくった神輿を担ぎ、4歳児は鳴子をならしながら園庭をまわりました。地域の方には和太鼓をたたいてもらったりうちわを振ってもらったりして、盛り上げていただきました。その後、PTA さんが準備してくれた的あてや魚釣り、輪なげなどのコーナーを何度もまわりたい遊びを楽しみました。又、子どもたちが地域の方とじゃんけんをしてシールを貼ってもらい、3つ集められると駄菓子屋さんコーナーへ行きお菓子をもらえる遊びをしました。子ども一人一人が地域の方と自然と関わることができ、よかったと思います。子どもたちの笑顔がいっぱい見られました。



【今年度のまとめ】

お茶会では、「お茶に関わってくれている多くの人に感謝の気持ちをもって、お茶を点てること」や、「優しい気持ちでお茶を点てること」など、普段の生活の中でも大切なことを教えて頂きました。英語遊びでは、英語で歌ったりゲームをしたりしながら楽しく英語に親しみました。世界にはいろんな言葉があることを知り、心が通い合うふれあいの時間をもつことができました。キッズサッカーでは、サッカーだけではなく、様々な運動遊びを通して体を動かす楽しさを感じ、自分たちで活発に遊ぶ姿がみられるようになり、心身共に逞しさが見られるようになりました。地域の人との交流は、感染症流行により以前のように多くもつことはできませんでしたが、限られた時間が充実したものになるように工夫したり、地域の方々が見守ってくれていることを子どもたちに伝え手紙やプレゼントをつくったりして、心の交流ができたのではないかと思います。

【来年度に向けて】

地域の方との交流について、状況に応じて臨機応変に事業内容や保育内容を工夫し、心の通った交流をもてるようにしたいです。子どもたちには地域の方の温かさや気持ちのつながりを感じてほしいと思っています。